

平成 24 年度新宿区外部評価委員会第 2 部会 第 7 回会議要旨

<開催日>

平成 24 年 8 月 7 日（火）

<場所>

区役所本庁舎 6 階 会議室

<出席者>

外部評価委員（5 名）

森本委員、金澤委員、小菅委員、小山委員、鱒沢委員

事務局（2 名）

山崎行政管理課長、担当 1 名

<開会>

1 経常事業評価対象の抽出について

【部会長】

第7回の第2部会を開会します。

先程の全体会の議論を踏まえ、どの経常事業を評価するか選んでいきます。

まず事務局からご説明をお願いします。

【事務局】

はい。資料4「平成24年度経常事業評価対象事業一覧【Aシート分】第2部会」をご覧ください。こちらからご評価いただく事業を選んでいただきます。対象となる事業は、原則として事業費が1,000万円以上の事業、それから、「事業の方向性」が「継続」以外のものとなります。該当する事業を読み上げます。

「新宿区社会福祉協議会運営助成」、「新宿区シルバー人材センター運営助成等」、「高齢者福祉活動事業助成等」、「高齢者クラブへの助成等」、「シニア活動館の管理運営」、「地域交流館の管理運営」、「福祉作業所の管理運営」、「障害者福祉センターの管理運営」、「新宿生活実習所の管理運営」、「スクールスタッフの活用」、「保護者会等での家庭教育事業」、「図書館の管理運営」、「民生児童委員の活動等」、「福祉サービスの利用者支援」、「敬老事業」、「障害者就労支援推進」

以上の16事業から12事業を選んでいただきたいと思います。

【部会長】

必ずここから選ばなければいけないということではないですか。

【事務局】

はい。関連する事業で評価したいものなどがありましたら、評価いただくことも可能です。

【部会長】

では16の候補から4事業を削って、さらにやりたいものがあれば入れ替えるということで決めましょうか。

【委員】

団体助成の事業が入っていますが、関係者のいる団体のものは外した方がいいのでしょうか。

【事務局】

最終的な結論は全体会で出されることになりますから、あえて部会の議論から外す必要もありません。過去の議論で言いますと、関係者がいることで事実誤認が回避された例もあります。

【部会長】

1つの案ですが、部会のテーマに沿って、指定管理者制度等ハード系の運営事業などはまちづくりの第1部会、シルバー人材センターなど労働が絡んでいる事業は産業の第3部会という仕切りがいいのではないのでしょうか

第2部会は民生委員など福祉に関する事業、それから教育に関する事業をやらなければいけない気がします。

【事務局】

そうしますと、「新宿区シルバー人材センター運営助成等」、「シニア活動館の管理運営」、「地域交流館の管理運営」、「図書館の管理運営」あたりが外れてくるものと思います。

【部会長】

必ずしもこれらの事業を他の部会で評価してもらえるわけではありませんが、第2部会としてこのように提案するということがいかがでしょうか。

<各委員了承>

ひとまずこれで12事業になったわけですが、他に特に評価したい事業があれば、入り繰りをするのが可能です。何かございますか。

【事務局】

事業費が100万円未満の事業は原則外部評価の対象外となりますので、100万円以上、1,000万円未満の事業から選んでいただきたいと思います。

【委員】

「スクールスタッフの活用」というのはどのような事業でしょうか。

【事務局】

「地域特性を活かした教育活動を展開するため、地域の人材を活用した地域学校教育活動支援事業を実施する」事業です。地域の人材をスクールスタッフとして、学校でティームティーチングを行う、授業、部活動、読書活動の支援などを行う事業です。

【部会長】

地域の人ですね。

【委員】

そうであれば、「スクール・コーディネーターの活動」も一緒に評価すると効果的かもしれませんね。

【委員】

そうですね。

【部会長】

ではそれを加えるとして、代わりにどれを外しましょうか。

【委員】

福祉施設ではありますが、指定管理の事業ですから、「新宿生活実習所の管理運営」を外して良いのではないのでしょうか。第一部会に振ってみるということで。

【部会長】

いかがですか。

<各委員了承>

他にございますか。

【事務局】

では確認させていただきます。第2部会で外部評価する事業は、「新宿区社会福祉協議会運営助成」、「高齢者福祉活動事業助成等」、「高齢者クラブへの助成等」、「福祉作業所の管理運営」、「障害者福祉センターの管理運営」、「スクールスタッフの活用」、「スクールコーディネーターの活動」、「保護者会等での家庭教育事業」、「民生児童委員の活動等」、「福祉サービスの利用者支援」、「敬老事業」、「障害者就労支援推進」

以上12事業となります。よろしいですか。

【事務局】

では他の部会に伝えて参ります。

<事務局1名退出>

【事務局】

今後についてですが、計画事業と同様、2度のヒアリングと2度の取りまとめを経て、全体会での取りまとめを行っていくこととなります。

【部会長】

皆さんよろしく申し上げます。

では本日の部会は以上になります。

お疲れ様でした。

<閉会>